



南郷

札幌市立南郷小学校 学校だより 第6号

令和8年 8月31日

【学校電話】011-861-9305

【学校ホームページ】

<https://www.nango-e.sapporo-c.ed.jp/>



子どもへのかかわり方をアップデートする

～ある父親の姿と、当時の自分を振り返って～

校長 関根 治彦

前号で旅行の話を書きました。この夏休み、息子3人の中で唯一同居している三男に「〇〇に泊まりに行こうと思うけど、日程大丈夫？」と聞くと、「日程は大丈夫だけど、俺はいいや。お父さんとお母さんで行ってきて」と振られてしまいました…。結局は夫婦で行くことになりました。ホテルに着き、大浴場に行くと、大浴場の中で、小学生～園児ぐらいの3人の子どもたちが走り回って遊んでいました。そして湯船に飛び込み、お湯を掛け合って遊んでいます。当然周りの大人たちは、迷惑そうな視線を向けています。私は子どもたち3人の所に行って「お風呂で走り回ると滑って転ぶから危ないよ。それに、ここはプールではないので、飛び込んだり、水を掛け合ったりしてはいけませんよ。」と注意しました。すると父親らしき人が私の所に来て、「すいません。旅行に来ていて、気持ちが高ぶってしまっているの、大目に見てくださいませんか？」と謝罪してきました。私は「走り回り、怪我をしようとする楽しい旅行が台無しになりませんか？何よりも、お子さんたちは、いつ、公共の施設では他の人たちに迷惑を掛けないようにしなければならないということを学ぶのでしょうか？」と尋ねました。父親らしき人は「そうですね。」と納得したように言って、子どもたちに、話を始めました。その後、湯船につかっていると、子どもたちがやってきて、「ごめんなさい。」と謝罪してきました。私は「いいんだよ。気を付けてね。」と笑うと、子どもたちはニコッと笑って、お風呂を出て行きました。その後父親らしき人が来て、私に「ありがとうございました。」と言うと、次にやや大きめの声で「子どもたちが御迷惑をお掛けしました。すいません。」と大浴場にいる人たちに向かって頭を下げていきました。私はその父親らしき人の行動にいたく感動をして、部屋に戻ると妻に一連の話をしました。妻からはあきれられました…。

話は変わりますが、一昨年、実家を処分する際、実家の棚に学校の教員になってから、スクラップしていた自分のファイルを見付けました。そして、この夏休みには、自宅の断捨離を実施。その際、そのファイルを見直しているときに、古い新聞記事の切り抜きを見付けました。

子どもに対する親に必要な基本的態度に四つある。これは将来的にもう心配はないという多くの青年たちに、子ども時代を振り返って調査して分かってきた共通事項である。

その第一は、親は「厳しかったが、それ以上に温かかった」ということ。子どもの成長に欠かせない安心・安全の欲求が満たされていた上に、殺さない、盗まない、いじめないなどのしつけの三要素が徹底していたという親の姿勢であった。

第二は「叱られていたけど、励まされることが多かった。」子どもは、叱られながら人になるのは当然であるが、その上に、いつも将来に対する希望や夢があったということだろう。

第三は、母親が「ロウるさくよく言い聞かされたが、よく聞き役になってくれた」。特に母親がロウるさくないと子どもはまともに育たないが、それは一方通行で、子どもに話しに耳を傾けて、大笑いをしながら楽しむ母親であれば、子どもは高校生や大学生になっても、学校や友人のことなどを何でも話をするものである。

第四は「必要なものは最低限与えられたが、多くは耐えさせられた」ということである。これは、いまの世間では一番難しいことなのかもしれない。親の文化程度が問われる問題でもある。

作家の吉川英治氏は、裕福な青年にこう語っている。

「君は不幸だ。早くから、おいしいものを食べすぎ、美しいものを見すぎているということは、こんな不幸はない。喜びを喜びとして感じる感受性が薄れていくということは、青年として気の毒なことだ」と。

「人はいつも豊かなら情弱になり、いつも喝采なら愚鈍になる」という人もいた。

～北海道新聞 「妄言有情 子育て四条件」 松尾つよし著 より引用(原文のまま)～

内容的には時代を反映していますが、大切なのは「子どもを育てている」という意識をもって子どもに関わることでないかと思います。この文章を書きながら、私はこのスクラップしていたコラムを読んだときに、温泉の父親のように子どもに対する関わり方を変えることができたかどうかと、反省しきりでした。

9月に入ります。一年間の折り返しに近付いてきております。保護者、地域の皆様には、共に子どもを育てる者として、共に成長していければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



9月の 行事予定

第2節（7～9月）の教育目標

『深め合おう』

学年独自の活動や前期の振り返りなどを通して『自分の役割と責任を考え、行動する』『励まし、助け合い、協力する』子どもを目指します。

1	火	全校朝会③ 後期教科書配付 ス) 遠足オリエンテーション【2校時】 資源回収	
2	水		♣
3	木	クラブ⑤	
4	金	スマイル全校遠足(月寒公園)	♣
5	土		
6	日		
7	月	事務作業日【短縮5時間授業】	♣
8	火	開放図書館選書会①	
9	水	開放図書館選書会② 3年タグラグビー【5・6校時:体育館】	♣
10	木	ぽかぽかサロン 児童委員会⑥	
11	金	保護者引き取り訓練(5校時) 教育実習終了 個人懇談予定表配付 SC(9:30~15:30)	♣
12	土		
13	日		
14	月	会議日【短縮5時間授業】	♣
15	火	5年認定こども園幌東見学 3年タグラグビー【1・2校時:体育館】	
16	水	3年タグラグビー【5・6校時:体育館】	♣
17	木	クラブ⑥(クラブ見学)	
18	金	スマイル全校遠足予備日 たまROM集計表配付 あお【サポさぼ前期評価・後期目標】配付	♣
19	土		
20	日		
21	月	敬老の日	
22	火	国民の休日	
23	水	秋分の日	
24	木	個人懇談①【短縮5時間授業】	
25	金	個人懇談②【金曜日課4時間授業】 SC(9:30~15:30)	♣
26	土		
27	日		
28	月	個人懇談③【短縮5時間授業】	♣
29	火		
30	水	個人懇談④【短縮4時間授業】	♣

子どもの命の大切さを見つめ直す月間

夏休み明けの9月は、全国的に子どもたちの心が不安定になりやすい傾向があり、札幌市内全校で、標記の月間を設けております。期間は、8/18~9月末です。

教職員も命の大切さを伝えと共に、子どもたちの様子を細かく見守り、子どもからのサインを見逃さないよう心掛けております。各御家庭におかれましても、子どもたちを支える言葉掛け『まほうのかいわ』の活用をよろしく願いいたします。また、何かお気づきの点がございましたら学校まで御連絡をお願いいたします。

後期用教科書配付9月1日(火)

【1年生】国語・生活・図工	3冊
【2年生】国語・算数	2冊
【3年生】国語・算数・図工	3冊
【4年生】国語・算数	2冊
【5年生】図工	1冊

※落丁がないことを確認後、必ず記名をお願いします。

※使用開始時期については、担任より学年便り等でお知らせいたします。それまで大切に保管してください。

9月4日はスマイル全校遠足

目的地 月寒公園(約2.1km)

持ち物 □水筒(水かお茶、スポーツドリンク)

□体育帽子 □雨具 □弁当 □敷きもの

□ごみ袋 □おしぼり(ウェットティッシュ)

□おやつ(250円以内)※ガム禁止。

*詳しくは学年便り等で御確認ください。



通知表について

昨年度より通知表は年1回の発行(学年末)となっております。前期は、

【通常学級:たまROM集計表】

【あおぞら学級:サポさぼ前期評価・後期目標】

を9月18日(金)に配付いたします。配付後に実施される個人懇談では、お子さんの前期の頑張りとは後期の目標についてお話する予定ですので、気になること等ございましたらその際に御相談ください。

9月 SC(スクールカウンセラー)相談日

11日(月)/25日(金) 9:30~15:30

御相談を希望される場合は、担任または教頭まで御連絡ください。(861-9305)